



松木源太郎 議員



### 飯岡駅から国道126号バイパスまでの冠水対策について

**問** これまでどのような対策を実施してきたか。

**答** 流末となる川までの排水路の断面拡張や新たなルートを整備するなどして、冠水被害の軽減を図ってきた。

**問** 10月16日の住民説明会で、どのような説明をしたか。

**答** 令和2年度に高生川の一部区間の改修に着手したこと。旧海上中学校南を經由して、大間手川へ至る排水路の流れの悪い箇所について、今年度末までに改修工事完了を目指すこと。仁玉川につながる天和川などを流れやすくすることなどの説明をした。

**問** 地形図でこの地域の標高を調べたところ、この地域に降った雨は、ほとんどが126号バイパスの方へ行く。今後、県と解決の議論をする方向をとるか。

**答** 県道の雨水排水と旭市地域の雨水排水が原因で冠水する

るので、県と共同して改善を図っていかねばと考えている。

**問** 市長は、平成30年のこの件の陳情書に議員として賛成していると思うが、この問題について、どのように思うか。

**答** 市長選の際に、直接この地域の方から「この排水問題を解決してくれれば、誰が市長になったっていいんだよ」と聞き、そのぐらい大変な問題なんだなという認識をした。

### 千潟駅北側の明治川沿いの一方通行の道路整備について

**問** 香取橋からゆたか橋までの一方通行の部分は歩道の整備が一部のみで大変危険。

**答** 当該道路の舗装の修繕工事にあわせて、安全対策としてグリーンベルトやラバーポールの設置を進めたい。

### 広報あさひの全世帯への配布について

**問** 広報は約6割の世帯にしか届いていない。山武市はシ

ルバー人材センターが全戸配布を行っている。旭市でもできないか。市政情報を伝えるのは市の役割。広報を中心しつつ、いろいろな媒体を通じて自治体広報の役割を果たしていきたい。

### 災害時の対応について

**問** 9月議会で避難所への自家発電装置の設置を提案したが、これまでの進捗状況を伺う。

**答** 非常用自家発電装置の設置費用は、1施設当たり数万円から億単位となるため、全ての避難所への設置は困難。そこで、公用車のハイブリット車を利用した電源供給テストを実施し、電源が確保できることを確認した。

**問** 市には、発電機とハイブリット車は何台あるのか。

**答** 発電機を33台、ハイブリット車を2台保有している。

**問** 停電時のエアコン対策について伺う。

**答** 先進事例として他の自治体でも使用されている気化熱冷風機や移動式エアコンなどの導入を検討している。

**問** 気化熱冷風機とはどのようなものなのか、また室温は何度くらい下がるのか。



宮澤 芳雄 議員



**答** 室外機の設置工事や電気工事が不要で、水と電気だけを利用して、冷却フィルターと大型のファンにより涼しい風を作り出すというもの。先日行った室温変化のテストでは、室温が約3度下がったことを確認した。

### 基金の運用状況について

**問** 令和6年度の運用状況について伺う。

**答** 債券での運用は、26本で138億897万円、大口定期預金は17口で50億2359万円。

**問** 直近3年間の運用益と今年度の見込みについて伺う。

**答** 令和3年度は4667万円、令和4年度は5594万円、令和5年度は6490万円、令和6年度は7648万円を見込んでいる。

**問** さらに有利な条件で運用益を上げる手立てはないか。

**答** 新たな運用方法を取り入れるのは難しいが、今後も安全性を第一とし、社会情勢の把握に努め、金融機関等からの情報も得ながら効率的な運用を行ってきたい。

### その他の質問事項

○高齢者支援について